

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	キャリアデザイン2	
科目基礎情報						
開設学科	情報処理科	コース名	システム開発コース		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位				授業形態	講義
教科書/教材	キャリアサポートブック(本校オリジナル)					
担当教員情報						
担当教員	山本 純士・清水 孝之・三島 秀三・藤本 海艶		実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア		
学習目的						
<p>専門学校の目的は各分野の専門技能を身に付けたスペシャリストを社会に送り出すことである。その人材は専門分野に長けていることはもちろん、社会人としての資質も身に付けておく必要がある。本講座では働く意味を明確にし、学生と社会人との違いを認識するとともに、社会人になるための道筋、つまり就職活動の手順と方法を学ぶことが目的である。具体的には筆記試験の問題が解けること、履歴書やエントリーシートが書けること、面接試験に対応できることが目的である。</p>						
到達目標						
<p>就職活動の手順を理解し、自分でスケジュールを立て、受験する会社を自分で選べること。自分をアピールできる履歴書が書けること。一般常識・適性・作文などの筆記試験に合格できること。社会人としての身だしなみを整えられること。個人面接・集団面接・グループディスカッションなどの面接試験に合格できること。そして何より、希望する進路に向けて自ら積極的に行動できるようになることを目標とする。</p>						
教育方法等						
授業概要	<p>本講座終了後、直ちに行動を起こせるよう実践的な講座内容としている。キャリアサポートセンターからのバックアップを受けガイダンスを行い就職活動全体の流れを確認する。企業の採用担当者など外部講師を招聘し業界の生の声を聴くとともに、面接官から見た面接のアドバイスも受けることができる。さらに履歴書の作成、模擬試験、服装対策のセミナー、先輩の体験談を聞き、最後に模擬面接を行い、就職活動に対して万全の態勢で臨む。</p> <p>社会人としてのマナーとルールを再確認し、主に就職するための履歴書の作成、アポイントの取り方、グループ模擬面接を実施する</p>					
注意点	<p>授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。各回の終了前に数問の適性試験を解く時間を設けて問題に慣れる時間を設ける。ガイダンス及び各種セミナーの実施はスケジュールによって変更があり得る。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する			
	小テスト	30%	授業時間内に行われる適性試験(SPIなど)の問題を評価する			
	レポート	30%	授業内で作成した作文、履歴書、セミナー感想文などを評価する			
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われるグループ討論、模擬面接などを評価する			
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回)						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	就職ガイダンス(1)	就職活動の流れを理解し、自分から就職活動に対して積極的に行動できる				
2回	就職ガイダンス(2)	キャリアサポートセンターを活用することができる				
3回	業界セミナー(1)	業界人、企業人による特別講座を聴講し、社会人意識及び面接に臨む態度を身に着けることができる				
4回	業界セミナー(2)	業界人、企業人による特別講座を聴講し、社会人意識及び面接に臨む態度を身に着けることができる				
5回	業界セミナー(3)	業界人、企業人による特別講座を聴講し、社会人意識及び面接に臨む態度を身に着けることができる				
6回	履歴書作成(1)	自己分析を行い自分オリジナルの履歴書が作成できる				
7回	履歴書作成(2)	第三者が添削した履歴書をフィードバックし、より良い履歴書が作成できる				
8回	履歴書完成	完成した履歴書をさらにより良いものにバージョンアップできる				
9回	作文・小論文練習	作文・小論文を書くことができる				
10回	就職模擬試験	一般常識試験、適性試験、作文試験に合格できる				
11回	着こなしセミナー	就職活動を行うための身だしなみを整えることができる				
12回	内定者体験談	先輩方の体験を今後の自分の就職活動に活かすことができる				
13回	模擬面接(1)	個人面接で自分をアピールできる				
14回	模擬面接(2)	集団面接で自分をアピールできる				
15回	模擬面接(3)	グループディスカッションで自分をアピールできる				